



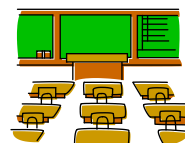
3月11日（水）、湘光中学校第79回卒業証書授与式を迎えます。今年の卒業生は156人です。3年前に少し大きめの制服に身を包み、緊張した表情で入学した生徒たちは、月日の流れとともに文字どおり心身ともに大きく成長しました。湘光中の伝統を受け継ぎ、新しい進路先で羽ばたく第79回卒業生を、厳粛な中にも温かみのある卒業証書授与式で送り出せるように、チーム湘光中学校一丸となって、準備を進めています。卒業おめでとう！！

学校評価アンケートから

生徒・保護者・教職員を対象に実施した学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。評価結果の主なものをお伝えします。

<分かる授業の実践>

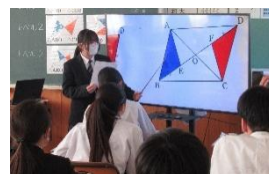
- わかりやすい授業を目指して工夫している（生徒91%、教職員100%）
- 生徒の努力を認め、励ましている（生徒89%、教職員96%）
- 授業で質問しやすい雰囲気をつくっている（生徒76%、教職員100%）



授業では、「学習のめあて（身に付けてほしい力）」に到達できるよう、自分で調べる活動や、互いの意見を共有する活動を設けながら、生徒の課題解決力を養うとともに、生徒同士が学び合う協働性を育むことを大切にしています。生徒が主役となる授業づくりをめざして、教師は校内外で研修会や研究会に参加し、さらなる研鑽を続けていきます。

<学習への取組>

- 授業中に話を聞き、考えている（生徒90%、教職員90%）
- 授業で積極的に発言している（生徒39%、教職員70%）
- 家庭で勉強する時間をつくっている（生徒62%、保護者87%）



授業中に話を聞き、自分の考えをもと努力しています。しかし、その考えを発言している割合が4割と少ない回答です。ペア活動や班活動の中で話し合ったり、タブレット端末などを用いて様々な見方や考え方に触れていったりする活動を充実させていきます。

<人間関係づくり>

- 良い人間関係を築いている（生徒87%、保護者99%、教職員94%）
- 悩みを先生に相談している（生徒38%、保護者86%、教職員73%）
- いじめのない学級・学校づくりに努めている（生徒89%、保護者97%、教職員100%）

良好な人間関係を築きながら学校生活を送っているようですが、思春期の悩みを抱えていることが伺えます。教育相談コーディネーターを中心に、教職員だけでなく、スクールカウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカー等を含めた更なる相談体制の充実に努めます。

<学校生活の充実>

- 道徳で学んだことが活かしている（生徒82%、保護者98%、教職員77%）
- 学校行事が充実した活動となっている（生徒92%、保護者100%、教職員100%）

道徳の授業で考えたり学んだりしたことが、日常生活のいろいろな場面でも活かされ、豊かな人間性を育んでいることが伺えます。努力の過程や成功体験を仲間と共有することで自己肯定感・達成感を高めたり、学級や学年、異学年で協力する中でコミュニケーション能力を養ったりできるよう、引き続き、生徒が主体となって取り組む学校行事を充実させていきます。

新入生学校説明会【2月2日（月）】

説明会では、中学校の活動を紹介するだけでなく、部活動の見学も行いました。新入生は106人で、通常の学級は3クラスとなる予定です。4月の入学が待ち遠しいです。



<お知らせ>

4月 6日（月）始業式（午前）
4月 7日（火）入学式（午後）
4月 27日（月）PTA 総会（午後）
5月 12日（火）
1・2年生校外学習
5月 12日（火）～14日（木）
3年生修学旅行
5月 28日（木）体育祭
雨天の場合は29日（金）
※詳細は文書にてお知らせします。

3年生特別日課

2月17日（火）から始まった公立高校入学者選抜にかかる学力検査・面接・特色検査が無事終了し、3年生は特別日課が始まりました。卒業式の練習や学級活動、お楽しみ会、美化作業、卒業遠足など、卒業までの残り少ない日々を、思い出づくりを重ねながら、毎日忙しく、そして楽しく過ごしています。



中学校最後の給食はおいしいハンバーグ。3年生には卒業祝いのケーキが特別にプレゼント！



校内美化作業



同窓会入会式



笑顔満開！
大盛り上がりのお楽しみ会でした

松田警察署少年補導員連絡会からの依頼により、ボランティアを希望した生徒が、夏休みに交通安全や誘拐防止の短冊を付けたミニランドセルを製作しました。ミニランドセルは、大井小・相和小・上大井小に入学する新一年生に贈られました。



上大井小での贈呈式の様子

【校長室の窓から】

修了、卒業の月を迎えました。この一年間、生徒たちは毎日の学習や様々な行事に一生懸命取り組み、一人ひとりが個性豊かな「成長の花」を咲かせました。色とりどりの「成長の花」を見ることができたこと、それは私の一番の宝物となりました。

「成長の花」も最初は小さな苗木でした。芽は細く、枝と葉が少しいただけです。一年間の学校生活をとおして得られたたくさんの学びと経験は、小さな苗木を育てる栄養と水になりました。家族や地域の方々の励ましや支援は、苗木が光合成をするのに必要不可欠な明るい光となりました。そのおかげで、幹は太く、たくましく育ち、根を大地に深く、しっかりと広げることができるようになりました。

『花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ』

これは、詩人・書家である相田みつをさんの言葉です。外から見えない「根っこ」。この「根っこ」がしっかりしていないと、幹や花は倒れてしまいます。この「根っこ」にあたるものが、人間でいうなら「心」であると思います。心も普段は外から見えにくいものです。見えない「根っこ」が太い幹を支え、美しい花を咲かせるように、人間も豊かな「心」から芯の強い人間に成長していくように感じています。

生徒一人ひとりが次のステージで、どんな「新しい成長の花」を咲かせてくれるのか、今からとても楽しみです。そして3月11日（水）に本校を巣立つ3年生、自分で切り拓いた道を、自分の足でしっかりと歩いていくんですよ！卒業おめでとう。また逢う日まで！！